

再処理工場運転員の技術力の維持・向上 ～ラ・アーク再処理工場における運転訓練～

資料

日本原燃株式会社
2025年10月30日

【技術力の維持・向上のための取り組み】

当社は、再処理工場のしゅん工・操業を見据え、運転員の技術力の維持・向上を図るため、フランスのラ・アーク再処理工場や東海村のJAEA(日本原子力研究開発機構)において訓練を行っています。

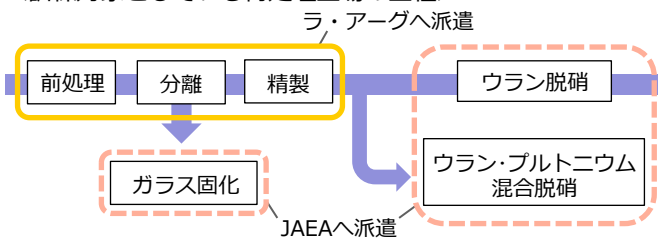


ラ・アーク再処理工場



JAEA(ガラス固化工程)

＜訓練対象としている再処理工場の工程＞



【ラ・アーク再処理工場での運転訓練】

ラ・アークでは、前処理・分離・精製工程の実機運転の経験を積むため、2021年度から2023年度まで計7回にわたって延べ83名の運転員が訓練を行ってきました。今回、2026年度のしゅん工に向けて訓練を再開し、11月から4名、2026年2月から2名の計6名を、それぞれ約1か月間派遣することとしました。

10月22日に行った壮行式では、社長の増田から運転員に対して、「操業後の安定運転に向け、実機運転を通して、再処理工場の運転員としての振る舞いや感覚を掴み、自信と責任をもって判断できる運転員になってもらいたい」という思いを伝えました。



運転員との集合写真（ポーズをしている6名が今回派遣する運転員）



激励の言葉を伝える様子



1人1人が決意を述べる様子



再処理工場運転部（前処理工程）

たにかわ ひゅうま

谷川 飛悠真（むつ市出身）

操業後、自分たちが主体となって工場の運転を引っ張っていくという気概を持って訓練に臨みたい。



再処理工場運転部（精製工程）

かわむら ゆうや

川村 悠也（十和田市出身）

地域の皆さまに安心いただけるよう、トラブルの未然防止や異常の早期発見ができる運転員に成長したい。

引き続き、再処理工場のしゅん工・操業に向けた技術力の維持・向上に取り組んでまいります。

以上